

TOKYO
KOMAKI
BALLET
SINCE 1946

小牧バレエ団創立70周年シリーズ

東京小牧バレエ団 宮古島公演

Tokyo Komaki Ballet Rendition

Swan Lake
Fire bird

伝統を継承する踊り手たちが魅せる2日間
創立70周年をむかえて



2016
1.30 (土) 31 (日)
17:30開場 18:00開演 12:30開場 13:00開演

マティダ市民劇場 (宮古島市文化ホール)

入場料金 3,000円 学生券 1,000円

白鳥の湖 第2幕 (古典バレエ)

1946年当バレエ団の創設者・小牧正英の演出・振付・出演により日本で初演。数多くの賞を受賞しました。70年間継承されてきました当バレエ団の代表作。不動の人気を誇る古典の名作「白鳥の湖」の上演です。

オデット:金子綾 王子:ビャンバ・バットボルト

火の鳥 (近代バレエ)

当バレエ団により1954年日本初演、東宝主催、日本劇場で24日間のロングランを記録。この舞台を手塚治虫氏をご覧になり、漫画史に残る名作「火の鳥」が誕生しました。近代バレエを代表する「火の鳥」の上演です。

火の鳥:さいとう美帆 イワン王子:グレゴリー・バリノフ

2015年12月
新国立劇場公演キャストより
撮影:飯田耕治

芸術総監督:菊池宗 補佐:森山直美 演出・振付:佐々保樹、酒井正光 バレエミストレス:周東早苗
舞台監督:千葉翔太郎 照明:吉田信 音響:藤居俊夫 衣裳:逸見美智子(チャコット株式会社) 舞台美術:有限会社ユニ・ワークショップ

お申込み・お問合せ 東京小牧バレエ団 TEL.03-3377-7764 FAX.03-5388-6940 | お気軽にお問い合わせください

●プレイガイド:TSUTAYA沖縄宮古島店 0980-72-3205、ファミリーマート 098-867-2084 (e+[イープラス] <http://eplus.jp>)

Tokyo Komaki Ballet Rendition

小牧バレエ団創立70周年シリーズ

東京小牧バレエ団 宮古島公演



さいとう美帆



グレゴリー・バリノフ



金子綾



ビャンバ・バットボルト

第1部 白鳥の湖 第2幕 (古典バレエ)

小牧バレエ団は2016年創立70周年を迎えます。さる2011年小牧正英生誕100周年記念公演(新国立劇場オペラパレス)を大好評のうちに終えました。銀座・交詢社ビル講堂が小牧バレエ発祥の場所でもあります。東宝小林社長助成のもと、東宝専属小牧バレエ団として年間200公演以上こなした時代もありました。創設者の小牧正英(2006年没)はハルビンのバレエ学校を1939年卒業後、モデルン劇場で踊っていましたが、上海バレエ・リュスの招聘によって1940年から45年の終戦まで、同バレエ団のほとんどの作品を踊り活躍しました。帰国してまもなく1946年8月9日~30日まで帝劇において上演された日本初演の「白鳥の湖」全幕の演出・振付を担当し、センセーショナルな脚光を浴びました。そして、クラシック・バレエ(「眠れる森の美女」「ジゼル」ほか)、近代バレエ(「シェヘラザード」「ペトルウシユカ」「火の鳥」ほか)の数々のレパートリーを日本初演・紹介してまいりました。皆様ご存じのように小牧バレエ団の業績は輝かしいものでした。今では考えられないロングラン公演を行い、観客動員の記録を残し、バレエ・ブームを巻き起こしました。戦後日本バレエ界の出発点となり、隆盛に導いたのは紛れもない事実です。古典バレエの代名詞「白鳥の湖」に関しましては小牧バレエ団でも幾度となく上演し数多くの賞を受賞しました。極めて完成度の高い作品として大切に受け継いでおります。1953年にはアメリカン・バレエシアターよりノラ・ケイを招聘し25回ロングラン公演となりました。1959年、イギリスのロイヤル・バレエの名花マーゴ・フォンテインを招聘し大評判となりました。近年でも時代に合せて練り上げ再演を重ねております。東京小牧バレエ団がご覧にいれる「白鳥の湖」第2幕、70年の伝統を継承し、一丸となって上演いたします。ご満足いただけると確信しています。



1946年日本初演 帝国劇場



1953年 ノラ・ケイ、小牧正英

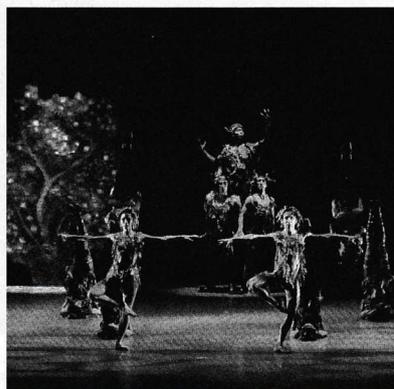
第2部 火の鳥 (近代バレエ)

音楽：イーゴリ・ストラヴィンスキー 演出・振付：佐々保樹

ディアギレフのバレエ・リュスが生んだ名作の日本初演は1954年。上海バレエ・リュスで同作を踊っていた小牧正英が、フォーキン版に基づいて演出・振付しました。東宝主催・日劇で24日間のロングランを記録したこの舞台を手塚治虫氏をご覧になり、漫画史に残る名作「火の鳥」が誕生しました。1992年以降は小牧バレエ団出身で20世紀バレエの巨匠アントニー・チューダーの薫陶を受け、米国を中心に活躍してきた佐々保樹の演出・振付により上演してまいりました。2010年にはタイトル・ロールを酒井はなが踊り絶賛されました。今回、火の鳥には新国立劇場バレエ団でプリマバレリーナとして活躍していましたさいとう美帆、イワン王子にはグレゴリー・バリノフで見応えのある舞台になると自負しております。



1954年日本初演
ノラ・ケイ、小牧正英



2010年 新宿文化センター大ホール

創立70周年をむかえて

伝統を継承する踊り手たちが魅せる2日間